



広報 いっすき

ホームページアドレス <http://www.vill.itsuki.lg.jp>

2012.7 (平成24年)
No. 225

No. 225



自然が奏でる子守唄の里 五木村
No. 225

発行日/平成24年7月1日 □発行/五木村役場 □編集/総務課
〒868-0201 熊本県球磨郡五木村甲2672-7 TEL: 0966-37-2211 FAX: 0966-37-2215

ホームページアドレス <http://www.vill.itsuki.lg.jp>



県道宮原五木線(登谷付近)



村道入鴨線(入口付近)



林道空舎線

今月の主な内容

- ふるさと五木村づくり計画住民説明会 . . . 2-4面
- 第4回 五木の新緑祭り . . . 5面
- 防災特集 . . . 6面
- そろそろ禁煙を考えましょう . . . 7面
- 出来事 . . . 8-10面
- お知らせ . . . 11-13面
- トピックス . . . 最終面

梅雨入り・台風到来!

梅雨に入り、また台風シーズンを迎えました。日頃から防災意識を持ち、災害に備えましょう。

6月23日からの梅雨前線豪雨により五木村では1世帯に避難勧告、1世帯が自主避難されました。

また、各地で道路への土砂流出が発生し、一時全面通行止めになるなどの被害がでました。

Topics

ふるさと寄附金をいただきました

あさぎり町 石山正剛様より、障がい者福祉に役立ててもらおうようにと寄附金をいただきました。

ありがとうございました。



初めての

ハッピーバースデー



元気いっぱいのおまへへ

まさともうすぐ1才になるねおめでとう ☺

産まれてすぐは寝てばかりいたまささんが最近ハイハイとつかまり立ちが早くなってきて目が離せなくなってきたね。(笑)

ハル兄ちゃんと2人でキャッって遊んでる姿を見ると、とてもうれしく思います。

今まで大きな病気をすることもなく元気にすごしてくれているのでパパもママも感謝しています。

これからもすくすく育てて下さいね。

そしていつまでも4人仲よくいようね ☺

パパママより

やまぐち まさと
山口 雅人くん
H23.7.23生
(父)亮一 (母)陽子 (野々脇)

Topics

福祉避難所協定が締結されました

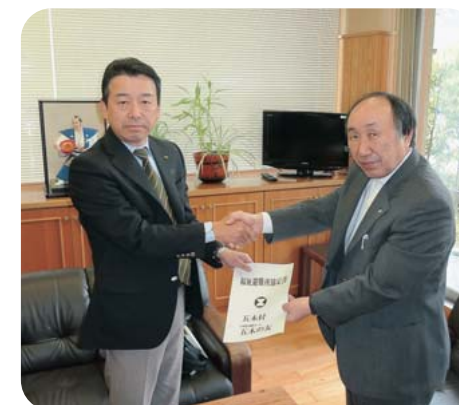
村は、今年4月にオープンした小規模多機能ホーム「五木の友」(代表つばめタクシー(株) 北 昌二郎)と、常に介助を要する高齢者等の要援護者が避難する「福祉避難所」の指定について、5月22日に協定を締結しました。

村内では五木村社協介護サービスセンターに次いで2か所目の施設になります。

福祉避難所は、避難が必要な要援護者に対し、避難を村が指示し、当該施設に避難した場合、介護専門職員がお世話をし、食費や紙おむつなどの費用は村が負担することになります。

詳しくは、保健福祉課福祉係または同課の包括支援センターにお問い合わせください。

保健福祉課: 37-2214 (IP: 2214)



行事予定

7月

- 12日(木)~20日(金) 保健福祉課事業説明会
- 20日(金) 文化財研修会
- 29日(日) 郡ポンプ操法大会(あさぎり町)
- 31日(火) 区長会

8月

- 14日(火) 白滝納涼祭り(西分館)
- // 東分館夏祭り(東分館)
- 中旬 だごひゃご祭り(北分館)
- 27日(月)~30日(木) 住民健診(集団検診)
- 31日(金) 区長会

人の動き (5月末現在)

人口...1,302人
世帯数...540世帯

	転入	転出	出生	死亡
男	10	10	0	3
女	6	7	0	2
計	16	17	0	5

※4月20日~6月19日出分

戸籍の窓口

6月1日	5月20日	5月6日	4月30日	4月30日
中村 兼男	白石 一記	森崎 トシ子	坂口 トミエ	谷村 安昭
(79才)	(87才)	(77才)	(90才)	(81才)

(敬称略)

下谷	頭地	下梶原	頭地	西谷
----	----	-----	----	----

◆おくやみ◆



働く場づくり関連・観光振興	7	○白滝公園について、遊歩道は砂利道になっているので、車いすの人は通れないし、杖をついている人は危ない。トイレも公園の奥にあり、和式なので高齢者の人は使いづらい。介護施設等からもバスで見に来られたりするので、高齢者の方も安心して来られるような工事をして欲しい。 ○左岸側（鍾乳洞側）に階段式の長い腰掛け等を作って欲しい。五家荘自然塾にはそういうものがある。また、駐車場整備も検討されているようだが、観光客だけでなく地域の人も利用できる駐車場を整備してもらいたい。	○白滝公園については、今後意見を聞きながら設計を始める予定。いろいろな御意見をいただきたい。(村)
	8	○白滝公園内の右岸の湧水護岸のところは、川へ降りられるようにスロープを整備されたが、そのスロープの最後の箇所は、10 cm程の段差になっていて、いつも水が溜まっている状態である。	○整備途中の状態である。もともとスロープの表面に石を張る計画だったが、河川敷でもあり増水時に耐えられるような仕様にすることや石ではなく別の構造にすることなどを検討している。いずれにしろ完成時には水が張ることはない。(村)
	9	○梶原川は地域のすばらしい資源である。キャッチ&リリース区間については、川に安全に降りられる道を作ってもらって安心している。みんなが親しめるような梶原川にしてもらいたい。計画に盛り込むことはできないか。	○もっとそういう意見をいただきたい。こういう良い場所がある、用地を提供できるので整備して欲しい等を提案していただきたい。(村) ○川に親しめるような侵入路の建設等について調査経費を本年度予算化している。(村)
	10	○三浦地区は蛸の宝庫。観光ルートや蛸を守ることを考えてもらいたい。 梶原地区にはシャクヤクが咲いており、観光客にも大変好評。数年前、柵を作ってもらいたいとお願いしたが、1度見に来たきりで何も反応がなかったので自分で作った。何もかもやってくれとは言わないが、計画に載っていることはできるだけ早く取り組んで欲しい。	○御意見はありがたく伺った。今までは、事業計画に乗せていたものでも、実施できていないものが確かにあったが、今後はそういうことがないよう、全て実施するつもりである。(村)
	11	○水没予定地について、観光客が川辺川に降りて、水辺に親しめるように駐車場、進入路を整備すべきではないか。また、白滝公園については、落石への対策や手すり等の整備を行って欲しい。	○水没予定地の活用については、様々な意見をいただいている。何か先に実施してしまうとその後の事業がやりにくくなったり、未買収地の問題もある。本年度水没予定地をどう活用して行くのか、基本的な設計を実施するのでもうしばらくお待ちいただきたい。白滝公園については、2年間かけて駐車場等の整備を行って行く。(村)
	12	○宮園の五木二中に保存してある民具について、観光客に展示する等、村民が提供してくれたものを有効活用してもらいたい。展示については、観光客の利便性も考えて頭地地区が良いのではないか。	○五木二中での展示も一つの方法と考える。品数が多いので、展示するものについて整理する必要がある。頭地で展示をという意見もあるので検討して行きたい。(村)
	13	○歴史文化交流館の計画があるが、その場所、建設の意義は何か。展示物等は、年中同じ物ではなく、一定期間毎に入れ替えを行うなど工夫をして欲しい。 ○県は博物館を持っていない、五木に博物館の分館等を作れないか。県立の博物館が無いのは熊本と静岡だけである。	○多方面からの意見を聞きながら、山村文化、ダム の歴史を理解してもらえるようなものを考えている。展示施設のやませみも24年度限りという話もあり、できるだけ早く進めて行きたい。(村) ○県の博物館として、松橋に用地はあるが、新たに200～300億の経費を必要とする箱物の建設するのは難しい状況である。県は美術館や装飾古墳館を運営、熊本市が博物館を運営しており、役割分担を行っていきたい。(県)
	14	○新緑祭りの際披露されていた、五木の子守唄について、自分が聞いてきた哀愁のあるものとはほど遠い印象を受けた。計画の中に、振興局の事業で「五木の子守唄」担い手養成・観光PR事業」とあるが、振興局の考え方を聞きたい。	○新緑祭りの際同様のご意見をいただいた。村でもこれまで伝承の勉強会等実施してきた。(村) ○振興局に正しい五木の子守唄についての知見があるわけではない。この事業は、後継者を育てることが目的、唄の中身そのものについては地元の指導を受けながら後継者を育てていきたい。また、天草ハイヤ、山鹿灯籠などは熊本市のホテル等から出演要請があっている。五木の子守唄をもっと知ってもらうために、まずは人吉市の旅館を中心に取り組んでいる。(県)
	15	○五木の原風景を取り戻すということを書いてあるが、旧道(元井谷・水没予定地)が通れなくなっている、山にも行けないし川にも降りられない。自分は狩猟をするが、犬が鹿を追いかけても道がふさがれているのでそれ以上行かない。日曜日は工事が休みなのでバリケードでふさがれている。休日には村外から釣りに来る人もいるが、どうにかならないか。	○旧道(水没予定地)については、現在国交省の管理になっている。村としては村道として認定する方向で考えているが、村議会 の了承が必要である。国も今年度いっぱい引き上げるとの話もあるため、今年度中に解決したいと考えている。(村)。 ※元井谷については私有地で、所有者が入られないようにしているもの。会場では特段説明なし

「ふるさと五木村づくり計画（平成24年度実施計画）」住民説明会における主な意見及び回答について

期 日：5月16日～22日 ※土日を除く
開催場所：宮園交流館、三浦地区集会室、伝統文化伝承館
西地区集会室、南地区集会室
出席者数：107名



住民説明会においては、多くの皆様にご出席いただき、貴重なご意見を賜りありがとうございました。
主なご意見ご要望と、それぞれにおける回答等をお知らせします。
なお、計画書については、全世帯に配布しておりますので、確認いただきまして、疑問点やご意見等ありましたら、ふるさと振興課までお尋ね下さい。
ふるさと振興課：37-2212

	No.	ご意見等	回答
全般的な意見	1	○これまで様々な計画づくりがなされてきたが、具体的にわかり易くなってきた。各事業の効果の確認や採算性について検討が足りなかったのではないか。事業の中には、効果の確認を行っていくとあるが、バンジージャンプなどは事故のリスク、採算性、雇用の確保、経済効果など精査し、事業推進のきちんとした判断基準が必要ではないか ○その他の事業についても、事業効果について検証を行って欲しい。	○バンジーについては昨年テストジャンプを行った。本年度からいきなり導入するのではなく、まずはイベント等での実施を行い、集客力、経済効果等について検証を行い、実施主体をどうするか等まで含めて検討して行きたい。(村) ○ご指摘の点はごもっともである。林業の事業などは、長期にわたる事業でありその効果を示すのが難しいものもある。事業にはリスクもつきものであるが、観光関係、資格取得などの事業については、リスク回避、経済効果、相乗効果等について検証して行きたい。(村)
	2	○H32年の五木村の人口はどこまで減ってしまうのか。人口を増やすには、若い人が定住し子を産み育てていけるようにならなければならない。今回の計画でそれができるのか。現実には、高校を卒業すれば、村外に出て行ってしまっており、県は努力しているというが、この計画で人口が増えるとは信用できない。国も県も真剣さが足りないのではないか。	○何も対策を講じなければ、H32年の予測では831人(H20人口問題研究所調査)となっている。人口の減、高齢化については十分に理解している。本来計画は、成果、目標を記載すべきものであるが、文化、福祉分野についてはその表記が難しい面もある。様々な施策を組み合わせることで、若い人の定住化に精一杯努力して行きたい。県の五木村振興推進条例も特定の市町村を対象とした条例としては、初めてのものである。(県) ○村としても水没予定地の活用の中で、清楽地区におけるシイタケの生産振興を考えている。そこで若い人の就業の場を考えており、2、3年研修してもらい将来は独立してもらう。また、少水力発電についても何ヶ所か候補地があり、その管理者等の資格を取ってもらい雇用に繋げていけるのではないか。こういったことを組み合わせながら、就労人口を増やして行きたい。(村)
	3	○計画の中にカタカナ語、英語が多すぎる(ブラッシュアップなど)。高齢者は理解しづらいのもっとわかり易い表現をお願いしたい。村民聞き取り調査の中にもあるように、人が少なくなり、地域の祭りや行事を維持することができなくなっている。村、県ともに対策を講じて欲しい。要望として述べます、回答は不用です。	
	4	○村づくり計画のどの部分で三浦地区が対象になっているのか。 ○全世帯聞き取り調査の結果については、10年前に村として把握しておくべきではないか、調査の結果は今回の計画に反映されているのか、また三浦地区にはやる気のある人もいるが、何か置いてけぼりにされているように感じる。	○ソフト事業については地区を限定したものではない、取り組みたい案件があれば対応して行きたい(村) ○三浦地区については、携帯電話の不感地域、道が狭い、高齢者住宅の整備の問題があるということは把握している。ただ、全体的な話だと答えにくいので、具体的にこうしたいので何か支援策はないか等のお尋ねがあれば何らかの回答ができる。(村)
	5	○全世帯聞き取り調査については、野々脇住宅では行われていないのではないか。調査の連絡もなかったが、昼間は不在なので夜連絡して欲しかった。	○昼間の電話連絡だけでなく、夜電話連絡を行ったが繋がらなかった。複数回連絡はしていると思う。結果として、調査対象とならなかったのは申し訳ない(村)
	6	○西地区にも観光バスを走らせてもらっているが、白滝や大滝は通過するだけ。客の滞在時間をつくってもらい、特産品の販売ができる施設を整備してもらえないか。	○今後地元との協議の中で、進めていきたい。(村)
働く場づくり関連・観光振興			



ツリークライミング

5月12日(土)・13日(日)の2日間、「第4回五木のふるさと新緑祭り」が開催されました。

1日目は、天候にも恵まれ、小学生及び中学生による合唱、子守唄保存会による子守唄踊り、川辺みゆきさんによる「正調五木の子守唄」の披露や、社会福祉協議会による沖縄伝統芸能「エイサー」の演舞など、いろいろな催しが行われました。

また、くまもとサプライズキャラクター「くまモン」も登場し、子供たちの人気を集めていました。

五木の「ゆるキャラ」「いつきちゃん」と一緒に、熊本県にちなんだクイズや、「くまモン体操」を披露、会場の子供たちも一緒に楽しく元気に「くまモン体操」を踊っていました。

祭り会場では、地元農産物の販売や、鹿肉のジャンボ鍋が無料で振る舞われまた、釣堀、新茶の釜炒り体験、ツリークライミングなど、多様なイベントも行われていました。



オープニングイベント



川辺みゆきさんによる子守唄



「いつきちゃん」
&
「くまモン」



田口太鼓踊り



五木中学校生徒による合唱



東小学校児童による合唱



大衆演劇役者玄海竜二さんによる

「玄海竜二ショー」

第4回

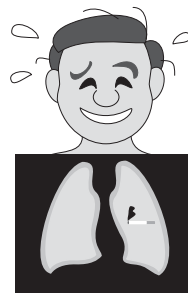
五木のふるさと新緑祭り

2日目は、秀岳館高校による「雅太鼓」、八代市泉町の「久連子古代踊り」、田口太鼓踊り保存会による「田口太鼓踊り」が披露されました。

午後からは、祭りのメインイベント、片岡演劇場の座長で、平成22年2月に東小学校で芝居公演を行ったことのある、玄海竜二さんによる「玄海竜二ショー」が公演され、歌や踊りに軽妙なトークで会場は感動と笑いの渦に包まれ、大いに盛り上がりました。

働く場づくり関連・産業振興	16	○この地区は一人亡くなれば一世帯が無くなるという状態。産業振興といっても、こんなに高齢化してしまっているのか？三浦地区には該当するものは無いのではないかと考えている。 昨年キラケを奨励したが誰も希望者がいなかったとのことだが、人吉では希望者が多く抽選になったとのこと。五木には土地がないので、水没予定地を早く活用させて欲しい。若い人をシタケなどの産業に従事させるようにUIターンを進めて欲しい。観光は昼間の人口が増えるだけ。夜の人口が増えるには産業の育成が必要。頭地の活性化なくして五木村の活性化はないと思っている。頭地はダム問題で大変だったと思うが、もうダム問題も一段落し、新しい家も建っている。頭地を中心に振興を図り、その効果を他の地区まで波及させてもらいたい。	○若者に定住してもらうことが大事だと思っている。宮崎県の諸塚村は、高卒で20万の収入と住居を補償してUIターンを募集している。五木でもそういうことを考えていきたい。また、小水力発電を進めており、その面でも働く場を確保していきたい。 水没予定地については、当面は河川敷を国から借用して使っていくので建物を建てられない。ただ、清楽地区については、ホダ場になるように整備してもらえるよう国に依頼している。ホダ場ができれば、若い人に帰ってきてもらい、まずは3セクが管理・雇用し、その後独立させていきたいと考えている。(村)
	17	○漬け物や干物など食品加工所などを作る計画などないか？地元ではそういう声を聞くが、公の場の話にはなかなか出てこない。	○地元からそういう声が上がれば、具体的な支援等検討できる。(村)
	18	○小水力発電の進行状況はいかがか。	○小水力発電は何とか進めてまいりたい。H22に小水力発電に関する簡易調査を実施し、その中の有望な1箇所ですべて今年度詳細な調査を実施する。経済的にクリアされれば建設を進めて行きたい。(村)
	19	○間伐材搬出の際、ケーブルを張るよりも作業道を設置したほうがコストが掛からないとのことであるが、搬出後に作業道をきちんと処理しておかないと崩落の原因になるのではないか。	○農林課に持ち帰り別途回答する。(村) →施業者においても、作業完了後は、山腹崩壊等の原因とならないよう、対策を施している。
暮らしづくり関連	20	○五木分校について通っている生徒から非常に良い学校だと聞いている。今後の存続はどうなっているのか。また、高校進学で人吉方面へ出る子供たちのために、人吉市内あたりに寮、下宿等作れないか。 ○村外への高校への進学に関して、寮費などの金銭的な負担が大きいので村からの支援をお願いできないか昨年申し上げたが、その後どのようになったのか。	○五木分校の存続については、約束事項であり、高校再編の対象外で今後も存続されていく。 分校に通う生徒たちのための寮、下宿の要望、人吉方面に通う生徒たちへの補助等の要望があるが、どうしていくか結論は出ていない。(村) ○当初予算には計上していないが、関係部局で議論している。引き続き検討してまいりたい。
	21	○実施計画39)安全安心な村づくり事業に関して、鶴地区では自宅進入路の坂を自分で上り下りできない方がいるが、この事業は村で整備を行うのか。 ○年金収入で生活している高齢者にとっては、1/2の自己負担は厳しいと思うが。	○村が整備するのではなく、個人で整備する場合に1/2を補助するという内容。3月の区長会でお知らせしているが、希望があれば建設課へご相談願いたい。当初5月2日までの受け付けでは6件の申請があり、全ての申請が事業対象になる見込み。(村) ○(補助率のかさ上げを)検討はしたが、以前の村事業においても1/2補助で実施しており、今回かさ上げすると以前の方々と比べて不公平となるので1/2補助をお願いしたい。(村)
	22	○携帯電話の不通話地域(平沢津、下梶原)への対応はどうなっているのか。	○携帯電話会社が不通話地域に進出してくれるという話になれば、補正予算を組んで予算を計上したい。ある携帯電話会社との話が進んでいる地域もある。以前にも携帯が不通のため事故後の対応ができず人が亡くなった事例もあり、不通話地域の解消に努力していきたい。
	23	○国道445号で未開通となっている九折瀬部分を早く開通させていただきたい。現在通行している対岸の村道は少しの雨でも危険で、一旦通行止めになると、頭地へは端海野を通して迂回することになり、住民は再び迷惑を被る。	○今年度、基盤整備事業の中で環境調査費を計上して進めている。(村) ○昨年6月の三者合意で約束していることなので、県としても急いで整備を進めて参りたい。(県)
	24	○白滝公園前のトンネルの前後に旧道の入口があるが、村外から来る人はスピードを出すので危ない。雪の時など特に危険。 ○平瀬の樫木氏の家の急カーブのところも危険。家の裏の方に道を作ってもらいたいと思うが。何らかの対策をしてもらいたい。	○担当部局につなぎ回答。(県) →球磨地域振興局土木部が現地調査を実施した結果、要望意見のとおり危険性があるため、危険を回避するための看板をトンネルの前後に2基、平成24年度事業で設置する。 また、平瀬の急カーブについても、警戒表示板をカーブの前後に2基、平成24年度事業で設置する。
	25	○民宿(蛍の里)を経営しているが、川の中洲に大きな石があって大雨の際大変危ないの撤去してもらいたい。	○担当部局につなぎ回答。(村) →球磨地域振興局土木部が現地調査を実施した。今後、増水時の観察を行い検討する。仮に転石等を撤去する場合には、6月から10月末まで河川内工事はできない。
	26	○梶原川の砂防ダムには魚道が一つもない。魚の住める川にしてほしい。	○砂防ダムについては、この地域のダムは古く、魚道という発想がなかった時代に造られたもの。可能などころについては国と検討していきたい。(村) 現在の基準では環境への配慮は優先的に考えられている。国の直轄事業での後付けの事例もある。また改修の際などに、積極的に取り組んで行きたい。(村)

そろそろ禁煙を考えましょう



健康保険人吉総合病院 下川恭弘

【タバコの害】

タバコはかつて嗜好品として社会に受け入れられていましたが、これまでの研究でタバコの煙にはたくさんの有害物質が含まれ、これがいろんな病気の原因となることがわかってきました。

今、多くの人たちが癌（がん）、心臓病、脳卒中、呼吸器疾患などの病気で苦しみ、亡くなっています。とくに肺癌はどんどん増えており、日本人男性の癌による死亡原因の第一位になっています。これらの病気は長い間続けてきた生活習慣が原因で起こりやすくなります。

そして体にとって最も悪い生活習慣がタバコです。またタバコは喫煙者のみならず、受動喫煙により周囲のタバコを吸わない人たちにも害をおよぼします。タバコを吸う人も吸わない人も、タバコを社会の問題としてもっと真面目に考えなければなりません。

【どうしてタバコがやめられないか】

タバコの煙にはニコチンが含まれ、麻薬や覚せい剤と同じように依存を起こします。タバコを吸うとニコチンは肺から血液の中に入り、脳に作用して快感を感じます。ところがニコチンが体から抜け始めると脳はうまく活動できなくなり、イライラするなどの離脱症状が現れ、タバコを吸いたくなります。タバコを吸うと落ち着きます。よく「タバコで気分が落ち着く」といわれますが、医学的には「タバコを吸わないと落ち着けない体になっている」のです。喫煙はニコチン依存症という脳の病気なのです。

またタバコは生活習慣のひとつです。朝トイレに座る時、食事を終えた時、コーヒーを飲む時、仕事が一段落した時、時間を持てあました時などタバコを吸います。これが数年、数十年と繰り返され、タバコは日常生活に深く結びつきます。

【タバコをやめるためには】

いかにタバコが体に悪いかを知ることです。本やインターネットなどに多くの情報が載っているので見てみましょう。タバコを吸い続けると将来自分はどうなるのか、よく考えてください。そしてタバコをやめたいという気持ちを強く持つことが最も大切です。

タバコをやめるとニコチンは数日で体から抜け、ニコチン離脱症状は数週間で消えます。しかしニコチンが体から抜けるときにタバコを吸いたい気持ちが非常に強くなり、つらくなります。これまでは強い精神力で乗り越えるしか方法がなかったのですが、今はニコチン製剤や内服の禁煙補助薬があり、これによってタバコを吸いたい気持ちがおさえられ、わりと楽に禁煙できるようになりました。

タバコをやめると自由に健康的な素晴らしい第二の人生を送ることができます。今やタバコを吸う人は少数派です。まだ喫煙している方はそろそろ禁煙を考えましょう。

今夏における節電へのご協力をお願い

日頃より節電にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当社は、現在、原子力発電所の運転停止に伴い、電力供給力確保のため最大限の努力を行っているところですが、今夏は、昨年より皆さまにご協力いただきました節電の効果を見込んだとしても、供給力が不足し、電力需給はきわめて厳しい状況となることが予想されます。このため、お客さまには、大変なご不便とご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんが、今夏におきましても、以下の内容のとおり、節電へのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【節電へのご協力をお願い内容】

- 7月2日（月）から9月7日（金）の平日（8月13日から15日を除く）の9時から20時について、「昨夏並みまたはそれ以上」の可能な範囲での節電をお願いいたします。
- このうち13時から17時（ピーク時間帯）については、「昨夏からさらに3%程度以上（昨夏の節電実績7%程度を含めると、一昨年から10%程度以上）」の節電にご協力をお願いいたします。
- また、上記期間・時間帯以外につきましても、お客さまの生活に支障のない範囲での節電に、引き続きご協力をお願いいたします。

九州電力株式会社

土砂災害に備えましょう！

梅雨に入り、また台風シーズンを迎えます。五木村では昨年は人家等の災害はありませんでしたが、村道で4箇所、林道で3カ所の道路災害が発生しています。また、五木村では昭和38年から40年に3年連続で大水害が発生、昭和59年には竹の川地区で土砂崩れが発生し、尊い人命が失われています。

近年では、国道445号（築切地内）で4年連続で道路が決壊し長期にわたり全面通行止めとなりました。

異常気象によるゲリラ豪雨や台風等により災害はいつ発生するか分かりません。日頃から防災意識を持ち災害に備えておきましょう。また、気象情報に注意し、危険を感じたら早めに指定された避難所に避難しましょう。

危険信号に注意してください。

災害が起こる場合、山の斜面や川の流れ等に注意しましょう。多くの場合、事前に危険信号と思われる変化があります。



災害に備え、防災会議が開催されました

梅雨に入り、雨の多い季節となりました。村では、災害に備えるため、災害対策基本法に基づき、「五木村地域防災計画書」を策定しています。

6月11日（月）午前10時から役場大会議室にて、国土交通省、熊本県、警察、消防、その他関係機関の代表者らが出席し、防災会議が開催され、防災マップ作成や避難所の指定、避難勧告等の発令基準等について地域防災計画書の説明があり、承認されました。

また、災害発生時の関係機関との連絡や協力体制について確認しました。



2012 スポレクフェア

5月27日（日）2012 スポレクフェアが開催されました。

今年度は、宮園地区の新たな拠点となった宮園交流館（旧北小学校）の見学を兼ねての開催となりました。

ビーチボールバレー・9チーム、グラウンドゴルフ・8チームの参加があり、各チームとも好プレーが続出し、さわやかなうちに大会を終えることが出来ました。

また、大会終了後は、交流館にて、食生活改善推進協議会の皆さんに作っていただいた豚汁（スキムミルク入り団子）を、美味しくいただきました。

試合の結果については、次のとおりです。

- 団体の部（ビーチボールバレー）
優勝 はな・はな（北分館）
2位 スペアリブ連合（東分館）
3位 山芍薬（東分館）

- 団体の部（グラウンドゴルフ）
優勝 東分館A（228打）
2位 西分館A（264打）
3位 西分館B（268打）

- 個人の部（グラウンドゴルフ）
優勝 木野辰喜（36打）
2位 土肥オトイ（44打）
3位 山下照公（46打）

★ ホールインワン

木野辰喜 2回・堂坂快佐征・岡本カヲル
土肥オトイ・黒木淑子・桑田アイ子 以上6名



五木中学校・人吉高校五木分校 合同体育大会

5月20日（日）中学校グラウンドにて、五木中学校と人吉高校五木分校合同の体育大会が開催されました。

当日は小雨が降るなか、中学校・高校それぞれ紅団・白団に分かれ、大会スローガン、『燃やせ情熱！創れ絆』のもと、優勝を目指して競技や演技を一生懸命に頑張りました。

保護者も一緒に競技に参加し、会場は笑顔と歓声で、雨にも負けないくらい大盛り上がりでした。

優勝したのは、中学校が紅団、高校が白団、総合優勝が白団となりました。



東小学校交通安全教室

5月2日（水）東小学校にて、交通安全教室が行われました。

児童たちは、スクールバスの乗り降りの練習や、五木駐在所の口元巡査長から、自転車の点検の仕方や正しい乗り方などの説明を、真剣な表情で聞いていました。

また、実際に学校周辺の道路を歩き、見通しの悪い道路の渡り方の練習や、運動場に作られたコースを信号機に従いながら、1・2年生は正しい横断歩道の渡り方、3年生以上は自転車に乗り、交差点の渡り方などについて学習しました。

児童たちが交通事故にあわないよう、家庭や地域でも子供たちの交通安全に、ご協力をお願いいたします。



口元巡査長による
自転車点検の指導



老人クラブ グラウンドゴルフ大会

5月19日（土）村老人クラブ連合会主催によるグラウンドゴルフ大会が、東小学校グラウンドにて開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、11チーム（70名）が参加し楽しくプレーされていました。

なお、1位と2位のチームは、9月27日（木）あさぎり町で開催される、球磨郡老人クラブ連合会主催の大会に、五木村代表として参加されます。成績は次のとおりです。

- 1位 鶴亀老人クラブA
- 2位 白滝老人クラブA
- 3位 天狗岩老人クラブA



沖縄伝統芸能「エイサー」を練習中

五木村社会福祉協議会が、毎年新緑祭りや、敬老式典等で披露している、沖縄の伝統芸能「エイサー」を今年は、老人クラブの皆さんにも参加していただこうと、県振興基金を活用して、衣装や太鼓などの道具を購入し、4月から練習を始められました。

メンバーの目標は、9月の敬老式典での初披露と、秋の子守唄祭りへの参加です。

これから週1回のペースで練習をされます。皆さん楽しみにしてください。



「鼓童」交流公演が開催されました

5月26日（土）午後2時から東小学校体育館にて、世界中で活躍する最も有名な太鼓芸能集団「鼓童」による交流公演が開催されました。

この公演は、「五木村子ども夢創造芸術文化イベント事業」の一環として、小・中学生を対象に、日頃から芸術文化に触れあう機会の少ない五木村の子ども達に、「本物の芸術」に接してもらうために開催をされました。

来場された方は、「鼓童」の生の演奏に聴き入れ、たいへん感動をされていた様子でした。

また、同時に開催された太鼓のワークショップでは、子ども達と鼓童のメンバーで一緒になって太鼓の演奏を行いました。

子どもたちは、太鼓の音色や響きを体感し、太鼓の魅力に触れ合うことができ、貴重な体験をすることができました。



シルバー人材センターの総会

5月23日（水）シルバー人材センター（会員50名）の総会が林業センターにて開催されました。

総会の中で、木下理事長が「センターも今年1月より事務所を独立した。会員のそれぞれに苦労はあると思うが、自分たちのセンターであるという意識を持ち、しっかりと頑張っていきましょう。」との言葉に、会員の皆さんは新年度のスタートに決意を新たにしていました。

センターは現在、会員を募集中です。60歳以上の方が対象ですので、共に働こうという意欲のある方は、シルバー人材センターまでお問い合わせください。

シルバー人材センター：37-2037（IP：2037）



昨年の奉仕作業

戦没者追悼式

4月26日（木）慰霊塔広場にて、五木村遺族会主催による戦没者追悼式が行われました。

追悼式には、遺族会会員や来賓およそ80名の方々が出席。厳かな雰囲気の中、追悼の言葉をささげ戦争の悲惨さを風化させることなく平和な社会の実現のため、改めて全力を尽くすことが誓われました。

戦没者のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



7月から「レジ袋の削減」に向けた取り組みが始まります。

人吉球磨地域では、住民のみなさん、ひとりひとりが取組める環境行動として、レジ袋の削減に取組み、マイバッグ等の持参を促進します。

基本的な取組みとして、人吉市等の一部の店舗ではレジ袋の無料配布をやめ、必要な方には有料（3円）での提供や、有料化以外の取組みとして、マイバッグのポイント制等に取り組んでいます。

住民の皆様もゴミ削減のため、買い物する時はマイバッグの持参に心掛けましょう！



○国民年金保険料の納付は口座振替がおトクです

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用になれます。

口座振替をご利用されますと、保険料が自動的に引き落とされるので金融機関に行く手間が省けるうえ、納め忘れもなくとても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に引き落とさせていただくことにより月々50円割引される早割制度や、現金納付よりも割引額が多い6か月前納・1年前納もあり、大変お得です。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または年金事務所へお申し出ください。

日本年金機構 八代年金事務所 電話番号0965-35-6123
〒866-8503 熊本県八代市萩原町2-11-41

村内で迷い犬が相次いで見つかっています！

最近、村内各地で迷い犬が相次いで見つかっています。犬を飼育されている方は、次の点に注意をお願いします。

飼育にあたっては・・・

- ・犬の放し飼いをしないようにしましょう。
- ・室外飼育や散歩の際には、首輪、鎖・ひもをちゃんと付けるようにしましょう。
- ・檻・柵の中で飼育される際には、犬が逃げ出せないようにカギをかけるなどしましょう。
- ・万が一迷子になっても、すぐに飼い主が分かるように、登録・届出をし、鑑札や迷子札を付けましょう。
- ・人を咬まないように普段からしつけをし、毎年1回狂犬病予防注射を受けさせましょう。

もし飼い犬が逃げ出したり、迷い犬を見つけたら・・・

- ・迷い犬を発見したら、役場まで連絡しましょう。
- ・見知らぬ犬については、咬まれないように、むやみに近づかないようにしましょう。
- ・迷い犬を捕獲して気に入ったからと黙って飼ったりすると、法律上のトラブルに発展するおそれがあります。飼う前に必ず役場までご連絡ください。

犬も大切な命です。飼い主の皆様は、愛情・責任をもって大切に飼いましょう。



関係機関連絡先
保健福祉課：37-2214（IP：2214）
人吉保健所：22-3107

I（アイ）ターン助成金

平成22年度から施行された「五木村子育て・定住支援条例」に基づき、あさぎり町から西谷地区に移り住み2年が経った黒木昌彦さんにIターン助成金が交付されました。

本条例は、Iターン助成金のほかに、Uターン、結婚、出産等の助成金制度があります。

子育て・定住支援条例の詳しい内容については、住民税務課及び保健福祉課までお問い合わせください。

住民税務課：37-2213

保健福祉課：37-2214（IP：2214）



村長よりIターン助成金を手渡される黒木さん

球磨郡消防ポンプ操法大会出場

ー五木村消防団第2分団ー

本年1月に行われた消防団出初式にて、ポンプ操法競技で優勝を納めた第2分団が、五木村の代表として、7月29日（日）あさぎり町須恵文化ホール駐車場にて行われる、第28回球磨郡消防ポンプ操法大会に出場いたします。

6月4日から大会に向け、毎日夕方から北分署横の駐車場にて訓練に励んでおります。

これから暑さが増し、訓練も厳しくなると思いますが、五木村の代表としてプライドを持って臨んでおりますので、住民の皆様も出場選手に激励をお願いいたします。

なお、出場選手は次のとおりです。

- 【指揮者：中野重実】
【1番員：羽手村大樹】
【2番員：谷口和也】
【3番員：新富正敏】



土砂災害緊急情報伝達訓練が行われました

6月4日（月）「土砂災害に対する全国統一防災訓練」に合わせ、五木村と国土交通省合同の土砂災害緊急情報伝達訓練が実施されました。

今回の訓練は、国土交通省から熊本県および五木村へ「土砂災害緊急情報」を伝達するとともに小鶴地区にて現場監視体制を構築し、災害現場と五木村役場（対策本部）を衛星回線を通して災害時の映像配信および交信が行われました。

小鶴地区グラウンドに設置されたビデオカメラの映像が、衛星回線を通して役場大会議室の対策本部のパソコンに映しだされ、対策本部では木下副村長がその映像を見ながら、災害現場への指示を行いました。

現場では、引き続き現場監視訓練も行われました。



ヤマメの稚魚を放流しました

6月13日（水）川辺川（宮園地区）にて、東小学校教育によりヤマメの稚魚の放流がありました。

このヤマメの稚魚の放流は、6月の環境月間に合わせ、毎年九州電力㈱が主催しており、今年で8回目となります。

児童達は、宮園交流館（旧北小学校）で、九州電力㈱の方から、電気の大切さや節電について学んだ後、川原に下りて一人づつバケツに入ったヤマメの稚魚をやさしく川に放流しました。

この日放流した稚魚は約1万匹で、放流された稚魚は、元気に川の中を泳いでいました。



国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)、一般職試験(社会人試験(係員級)) 及び税務職員採用試験の実施について

人事院では、「平成24年度国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)、一般職試験(社会人試験(係員級))及び税務職員採用試験」を実施します。

【受験資格】

◆一般職試験(高卒者試験)

- ①平成24年4月1日において高校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者及び平成25年3月までに高校又は中等教育学校卒業見込みの者
- ②人事院が①に掲げる者に準ずると認める者

◆一般職試験(社会人試験(係員級))

昭和47年4月2日以降に生まれた者(高卒者試験の①に規定する期間が経過した者及び人事院が当該者に準ずると認める者に限る。)

◆税務職員採用試験

- ①平成24年4月1日において高校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者及び平成25年3月までに高校又は中等教育学校卒業見込みの者
- ②人事院が①に掲げる者に準ずると認める者

【受付期間】

- ◆インターネット 6月26日(火)～7月5日(木)
- ◆郵送または持参 7月2日(月)～7月10日(火)

【第1次試験日】

9月9日(日)(九州地区では高卒者試験、税務職員試験は、8試験地で実施。社会人試験は、4試験地で実施。)

【お問い合わせ先】

人事院九州事務局 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1
電話番号 092-431-7733 <http://www.jinji.go.jp/> (人事院ホームページ)
※「国家公務員試験採用情報ナビ」からお入りください。



自衛官募集採用試験

【防衛大学校】(推薦)

高卒(見込み含む)21歳未満の方
※推薦については高等学校長の推薦等が別途必要です。
受付:9月3日(月)～9月5日(水)
試験日:9月29日(土)・30日(日)

【防衛大学校】(総合選抜)

高卒(見込み含む)21歳未満の方
受付:9月3日(月)～9月5日(水)
試験日(一次):9月29日(土)

【防衛大学校】(一般・前期)

高卒(見込み含む)21歳未満の方
受付:9月3日(月)～10月1日(月)
試験日(一次):11月10日(土)・11日(日)

【防衛大学校】(一般・後期)

高卒(見込み含む)21歳未満の方
受付:平成25年1月23日(水)～2月1日(金)
試験日(一次):平成25年3月2日(土)

【看護学生】

高卒(見込み含む)24歳未満の方
受付:9月3日(月)～10月1日(月)
試験日(一次):10月20日(土)

【航空学生】

高卒(見込み含む)21歳未満の方
受付:8月1日(水)～9月7日(金)
試験日(一次):9月22日(土)

【一般曹候補生】

18歳から27歳未満の方(中卒可)
受付:8月1日(水)～9月7日(金)
試験日(一次):9月17日(月)

【自衛官候補生】(男子)

18歳から27歳未満の方(中卒可)
受付:年間を通じて受付(常時受付)
試験日:9月17日(月)

【自衛官候補生】(女子)

18歳から27歳未満の方(中卒可)
受付:8月1日(水)～9月7日(金)
試験日:9月25日(火)・9月26日(水)

＜お問い合わせ＞

自衛隊熊本地方協力本部 人吉地域事務所
電話番号:22-4704

※県外在住の方で受験を希望される方も受験は可能です。

おしらせ

平成24年度五木村職員採用試験の実施について

■募集人員 一般事務 1人程度

■申込期間

平成24年7月23日(月)～8月10日(金)まで(土・日曜日を除く)

受付時間 午前8時30分～午後5時まで

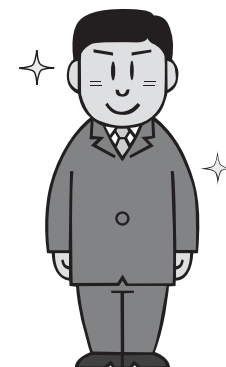
郵送の場合は、8月10日(金)までの消印があるものに限る。

■1次試験 9月16日(日)午前8時30分から

会場:多良木高校

※募集要項等詳しくは五木村役場総務課までお問い合わせください。

総務課:37-2211(IP:2211)



保健福祉課事業説明会及び 住民健診開催予定について

【事業説明会】

7月12日(木)～7月20日(金)

(内容)

- ・保険証の交換、住民健診等の説明
- ・ゴミ減量について

【住民健診(集団検診)】

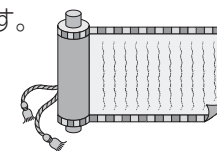
8月27日(月)～8月30日(木)

第2回 文化財研修会の開催について

熊本県文化財保護協会主催による、第2回文化財研修会が五木村で開催されます。

文化財としての古文書の重要性や、村内で見つかった庄屋文書等を解説することから見てくる、当時の五木村の姿などの講話が聴ける貴重な研修会です。

住民皆様のご参加をお待ち申し上げます。



○日 時:7月20日(金)

午後1時30分～3時30分

○会 場:五木村役場大会議室(役場2階)

○講 師:小郷 規征 先生(相良古文書研究会)

○主 題:文化財としての古文書の重要性

○参加費:無料

若い方のお仕事探しをお手伝いします!

熊本県では、球磨地域振興局総務振興課内に「ジョブカフェ・球磨ランチ」を設置しております。
就職に関するご相談等について、お気軽にご利用ください。

【ご利用できる方】

- ◇おおむね35歳未満の方、又は保護者の方
- ◇学校の進路指導担当の先生方

【お手伝いの内容】

- ◇就職に関する相談
- ◇職業適性診断
- ◇求人に関する情報提供・求人の開拓
- ◇出前相談

【連絡先】

「ジョブカフェ・球磨ランチ」(予約制)
電話番号:0966-22-0555

《診療所通院タクシー 料金助成事業のお知らせ》

五木村では、村民の皆様方の健康保持と医療福祉の増進に寄与することを目的に、高齢者等が五木村診療所への通院を容易にするため、タクシー料金の「半額助成」を行っています。
対象となる方は次のとおりですので、詳しくは診療所窓口または保健福祉課にお問い合わせください。

- (1)五木村診療所に通院中で、年齢が65歳以上の方
- (2)五木村診療所に通院中で、生活保護を受給している世帯全員の方
- (3)村長が特に必要と認める方

※助成対象のタクシー業者は、「つばめタクシー」です。
保健福祉課:37-2214(IP:2214)